

作成日：2011.12.15 更新日：2018.9.15



キーワード

ドメスティック・バイオレンス 暴力行為 性差別 保護命令
DV 防止法 デートDV サバイバー シェルター 家庭内暴力
バタードウーマン 加害者プログラム バタラー

🔗 関連する授業：「権利擁護と成年後見「ジェンダー論」「心理学」

》》》 入門的な情報源 《《《

そもそも「DV」とはということなのか、おさえておきましょう。

【図書館で所蔵している図書の一例】※辞書類は特に事情がない限り最新版を見るようにしましょう。

資料情報	請求記号	配架場所
『現代用語の基礎知識』自由国民社 毎年発行	R813.7/G	3F 指定図書
『岩波女性学事典』岩波書店 2002	R367.1/I	3F 指定図書
『社会学事典』丸善 2010	R361.033/N	3F 指定図書

「聞蔵ビジュアルⅡ」の「知恵蔵」も利用できます。(インターネット・学内のみ)

》》》 図書を探す 《《《

まずは、学内の関連図書を探しましょう。

■テーマの書架へ行って探す

【関連分野の分類番号】

367.1	家族・女性	367.3	家族関係・親子問題・夫婦関係
369.25	女性福祉	369.4	児童福祉・母子福祉

*DV 防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)は、2001年4月に施行、2004年、2007年、2013年に改正されています。法的なことが必要な資料を見る際には発行年月日が法改正前か後かを確認しましょう。

■OPAC で探す

→「書名」に“DV”などとキーワードを入れます。資料種別は「図書」にして検索しましょう。

→配架場所が研究室の場合は、カウンターでご相談ください。

【図書館で所蔵している図書の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『暴力被害と女性』村本邦子 昭和堂 2001	367.1/M	3F
『デートDV ってなに?Q&A』日本DV防止・情報センター/編著 解放出版社 2007	367.1/N	3F
『ドメスティック・バイオレンス』戒能民江 不磨書房 2002	367.1/K	3F
『ドメスティック・バイオレンスとジェンダー』吉川真実子 世織書房 2007	367.1/Y	3F
『加害者は変わるか? DVと虐待を見つめながら』信田さよ子 筑摩書房 2008	369.4/N	3F
『あたりまえの暮らしを保障する国デンマーク DV シェルター子育て環 境』上野勝代、吉中季子ほか ドメス出版 2013	367.23895/ A	3F
『虐待とDV(ドメスティック・バイオレンス)のなかにいる子どもたち へ:ひとりぼっちじゃないよ』チルドレン・ソサエティ 明石書店 2016	369.4/C	3F

本学にはない図書も探してみましょう。

●NDL-OPAC 国立国会図書館の蔵書目録です。国内で刊行されたほとんどの図書が検索できます。

- Webcat-Plus 「連想検索」で図書を検索できます。また、所蔵している図書館も表示されます。
- CiNii Books 「大学図書館の本をさがす」のところから日本の大学図書館の図書・雑誌を検索でき、所蔵館も表示されます。
- 新書マップ 入手しやすく入門的資料になりやすい新書を、テーマに基づいて探すことができます。連想検索機能があり、キーワードなどから瞬時に関連図が作成されます。

>>> 雑誌・雑誌記事を探す <<<

テーマに関連した研究を進める上で、論文や雑誌記事は欠かせません。出版されるまでの時間が短いのでタイムリーな話題が掲載されています。

■実際の雑誌から関連記事を探す

【図書館で所蔵している雑誌】

資料情報	所蔵年	配架場所	Web 目次
『女性心身医学』日本女性心身医学会/年3回	2006-2015	書庫	J-STAGE で本文公開。
『母性衛生』日本母性衛生学会/季刊	1987-現在	2F 西側	1996-
『こころの科学』日本評論社/隔月刊	1998-現在	2F 西側	2010-
『臨床精神医学』アークメディア/月刊	1993-現在	2F 西側	2004-目次あり それ以前は特集内容のみ
『社会福祉学』日本社会福祉学会/年3回	2004-現在	2F 東側	1992- J-STAGE で本文公開

→各号の目次をコピーしてまとめてあります。バックナンバーを探すのに便利です。

→各出版社（学会）のサイトから目次や特集記事が見られます。（“Web 目次”欄参照）

【ウェブサイトから目次等が公開されている雑誌】

資料情報	公開範囲
『JSTSS 学会誌』 (日本トラウマティック・ストレス学会)	5巻2号(2007)- 最新号 http://www.jstss.org/journals/
『国際ジェンダー学会誌』 (国際ジェンダー学会)	創刊号(2003)- 最新号 http://www.isgsjapan.org/journal/journal.html

■雑誌記事や論文を探す

- CiNii 国内の学術雑誌・一般雑誌の論文や記事を検索できます。
→「DV」と入れて検索すると、次のような論文が表示されます。（一例）

日本における人権教育、社会人教育としてのDV加害者プログラム実践の現状と課題：
DV加害者プログラム実践者へのプレ調査結果からの考察
高井由起子 教育学論究 (9-2), 139-148, 2017

機関リポジトリ

このように、**CiNii-PDF オープンアクセス** **機関リポジトリ** **J-STAGE** というマークがついていれば、全文を読むことができます。（有料のため見られないという例外もあります）

*上記のようなマークが無い場合～論文詳細画面の **Ci** CiNii Books のアイコンをクリックすると掲載雑誌の所蔵館が表示され、本学にある場合は「名寄市立大学図書館」が一番上にきます。その際、所蔵範囲を確認しましょう。

>>> 新聞記事を探す <<<

最新のニュースや動向などは、新聞が重要です。読むことができる一般紙・専門紙は次のとおりです。

●原紙

資料情報	種類	所蔵範囲
朝日新聞	一般紙	過去3ヶ月程度
北海道新聞	一般紙（ブロック紙）	過去1年程度
毎日新聞	一般紙	過去3ヶ月程度

読売新聞	一般紙	過去1年程度
産経新聞	一般紙	過去3ヶ月程度
福祉新聞	専門誌	2005.4-現在

*朝日新聞については、縮刷版の所蔵もあります。(1948.1-2011.3~書庫)

●新聞データベース

「聞蔵ビジュアルⅡ」(学内のみ) ~キーワード・日付などから検索できます。

→「DV防止法」と入れて検索すると、次のような記事が見つかります。(一例)

DV被害、女性守り20年 市民組織「ウィメンズネット旭川」/北海道
2016年10月31日 朝刊1道 28頁

>>> 専門的な情報源・統計 <<<

更に深くテーマを掘り下げるには、白書や統計・法令などの情報源が役立ちます。

【図書館で所蔵している資料の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『ジェンダー白書1』〈女性に対する暴力〉北九州市立男女共同参画センター →書誌情報および、関連法、統計などが巻末にあります。	367.1/K/1	3F
『犯罪白書』法務省 →特別法犯の項に配偶者暴力防止受理人員が載っています。 また、法務省のHPからも見る事ができます。 http://www.moj.go.jp/housouken/housou_hakusho2.html	R326.3/H	3F 参考図書
『男女共同参画白書』内閣府 →“女性に対する暴力”のデータ等があります。 http://www.gender.go.jp/about/danjo/whitepaper/	R367.21/D	3F 参考図書
『社会福祉六法』新日本法規 →「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護 に関する法律」の項目。	R369.12/S	3F 参考図書

>>> Web サイト <<<

関連サイトには次のようなものがあります。

- 内閣府男女共同参画局 <http://www.gender.go.jp/index.html>
→「配偶者からの暴力被害者支援情報」のページから支援施設や相談機関の情報を提供しています。
また、「女性に対する暴力」に関する調査研究などを公開しています。
- 警察庁「警察による犯罪被害者支援ホームページ」 <http://www.npa.go.jp/higaisya/home.htm>
→犯罪被害にあったときの相談窓口・被害者支援の取り組みなどを紹介しています。
- 女性情報ポータル ウィネット <http://winet.nwec.jp/>
→女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会を目指した情報の総合窓口です。
- 女性のためのDV相談室 <http://nwsnet.or.jp/#>
→NPO 法人全国女性シェルターネットによるDV被害者サポートのサイトです。
- 北海道の男女平等参画 <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/djb/index.htm>
→北海道環境生活部によるページです。「男女平等参画を阻害する暴力の根絶」などのページがあります。
- 全国社会福祉協議会・全国母子生活支援施設協議会 <http://zenbokyoku.jp/>
→母と子の権利擁護と生活の拠点を目指す組織です。母子生活支援施設についての案内があります。

図書館にない資料を入手するには

■直接利用

所蔵している図書館を調べ（CiNii Books など）直接出向いて閲覧することができます。

★北海道地区大学図書館相互利用サービス…学生証を提示し、利用登録手続きをすると、閲覧や館外貸出が可能です。（道内 39 大学 47 館）

★その他の大学図書館…おおむね、学生証の提示で閲覧が可能ですが、各大学図書館のホームページで確認してから訪問しましょう。

*「紹介状」が必要な場合は発行しますので、カウンターで申し込んでください。

★国立国会図書館…満 18 歳以上であれば誰でも利用できます。

★北海道立図書館…北海道内に居住している方・帰省先などがある方は誰でも利用できます。

■複写取り寄せ・現物貸借

他大学・国立国会図書館・道立図書館から、資料の複写物・図書現物を取り寄せることができます。

申込用紙に記入の上、申し込んでください。

*国立国会図書館から借りた場合は、館内閲覧のみです。ご注意ください。

■リクエスト

要望があれば、購入します。リクエストカードに記入して申し込んでください。

*絶版などの理由で購入できない場合もあります。